

加工・業務用向け野菜の取組事例

1. 経営体の概要

- 名 称 農業生産法人有限会社四位農園
- 所在地 宮崎県小林市野尻町
- 従業員数 役員6名、社員55名 パート27名
技能実習生40名
- 経営面積 242ha
契約面積 38ha
- 主な栽培作物 ほうれんそう、こまつな、
えだまめ、さといも等 10品目
- 販売先 学校給食、製造・加工事業者、
大手飲食チェーン店等

3. 今後の目標と課題への取組

冷凍加工野菜の需要増を踏まえ、海外依存の大きいほうれんそう、えだまめ、ブロッコリー及びさといも等の生産拡大を図るため、以下の取組みを実践

- 加工及び栽培計画の一元管理。
- 作業の効率化を進め生産コストの削減を図るため、規格の統一、機械化、鉄コンの利用及び工場周辺農地の集積。今後は、大型機械及び運搬用ダンプの導入を検討。
- 耕作放棄地を利用した更なる面積拡大。
- 広範囲に点在するほ場管理のため、ドローンやIoT技術の活用を検討。
- 品質管理を徹底するため、生産管理システムを構築し、栽培履歴を記録。
- 持続的会社運営のための人材育成。

2. 取組の経緯と特徴

No: 14

- 四位農園は、元来加工・業務用野菜の生産及び問屋業を営んでいたが、販売先から要請を受け、委託加工を開始。その後、安心・安全で責任ある製品を提供したいとの思いから、平成18年に冷凍加工工場を設置し、生産から販売まで一貫した生産管理体制を構築。
- 一貫した生産管理により、生産現場と加工現場の問題意識の共有と連携、徹底した一元管理によりコスト削減を図っている。
- 栽培品目は、作業効率や国産需要を踏まえ、ほうれんそう等10品目に限定。
- 栽培や収穫作業を機械化し、従業員の労働時間の短縮及び生産の効率化を図っている。
- 契約生産者への自動収穫機を活用した収穫作業支援や自社工場の原料受入倉庫の設置・拡充などにより、安定供給を図っている。
- 収穫した野菜は、すべて自社工場へ出荷。加工された製品は、主に学校給食用や製造・加工事業者へ販売。



四位農園



こまつなの収穫

〈お問い合わせ先〉

農業生産法人有限会社四位農園（0984-44-0109）